

第七十一回帝國議會 衆議院

製鐵事業法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

製鐵事業法案(政府提出)

會議

昭和十二年八月二日(月曜日)午後二時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清瀨規矩雄君

理事中井川 浩君 理事南條 德男君

理事瀧澤 七郎君

高橋壽太郎君

木原 七郎君

手代木隆吉君

古田喜三太君

井上 知治君

芦田 均君

永山 忠則君

井上 良次君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 吉野 信次君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

陸軍參與官 比佐 昌平君

海軍參與官 岩田 正記君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工省鑛山局長 東 榮二君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

シ

海軍中佐 岡崎 文勳君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

製鐵事業法案(政府提出)

○清瀨委員長 是ヨリ開會致シマス、質問

ハ一應終局致シタ譯デアリマスケレドモ、

極メテ簡單ニ質問シタイト云フ方デアリマ

スカラ、之ヲ許シマス——小野謙一君

○小野委員 委員長ノ御許シガアリマシタ

カラ、極メテ簡單ニ商工大臣ニ對シテ二三

伺ッテ見タイト思ヒマス、申上ゲル迄モナ

ク、本法制定ノ目的ハ製鐵生産力ノ擴張ニ

アルコトハ勿論デアリマス、隨テ政府ハ此

生産擴張ノ目標ヲ何處ニ置クカ、斯ウ云フ

コトヲ先ヅ第一ニ御尋シテ見タイト思ヒマ

ス、此間商工大臣ハ、高橋壽太郎氏ノ御質

問ニ對シテ御答カト記憶シテ居ルノデア

リマスガ、千万種案トカ、幾ラ案トカト云

フコトニ對シテハ、再檢討ヲ加ヘテ見タイ

ト云フヤウナ風ニ御答ニナッタヤウニ拜聽

シタノデアリマスガ、私ハ今更増産ノ目標

ニ對シテ再檢討スル必要ガアルトカ、ナ

イトカト云フヤウナ答辯ヲ伺フコトハ、一

寸如何カト存ズルデアリマス、元來本法

ハ、既ニ政府當局ニ於カレマシテ一定ノ目

標ナリ、御考ナリヲ以テ御決メニナリマシ

テ出テ參ッタノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノ

デアリマス、此法律ヲ御決メニナリマシテ

カラ其目標ヲ何處ニ置クカト云フコトヲ檢

討シテ見ルト云フコトハ、一寸本末顛倒ノ

ヤウナ感ジガナイデモアリマセヌ、何故斯

ウ云フコトヲ御尋シナケレバナラヌカト申

シマス、私共ノ伺ッテ居ル所ニ依リマスレ

バ、前商相アタリガ、自分ノ計畫シタ鋼材

六百二十万種トカ、或ハ七百万種トカ云フ

ヤウナ計畫デサヘ、其實行ガ不可能ダト云

フヤウナコトヲ、今更申サレテ居ルト云フ

コトモ伺ッテ居リマスシ、ソレニ又商工省ガ

石炭業者ニ、石炭増産ノコトヲ御相談ニナ

リマシタ場合ニ、石炭聯合會ガ二千万種以

上ノ増産ハ到底不可能ダト云フヤウナ返答

ヲシテ居リマシテ、而モ其二千万種ノ増産

ニ對シテハウント「コスト」ヲ上ゲテ戴カ

難ダト云フヤウナ返答ラシテ居ルト云フコ

トモ耳ニ致シテ居リマス、石炭ノ需要ハ單

ニ製鐵ノ事業バカリデハナイノデアリマ

シテ、化學工業其他將來益、需要増加ノ趨勢

ニゴザイマスノデ、果シテ石炭ノ生産能力

ガ限ラレテ居ルトスルナラバ、此製鐵ノ増

産ニ對シテモ世間ノ不安ガ益、加ハルノデハ

ナイカ、斯ウ云フヤウナ考カラ、ハッキリ此

際商工大臣カラ増産ノ用途ヲ伺フコトガ出

來マスレバ、大變結構デゴザイマス、若シ

ソレガ出來ナケレバ大體ノ御見込デモ伺ッ

テ置キマセヌト、如何ニモ政府ガ確信ガナ

イヤウナ、一般ニ不安ヲ懷クヤウナ感ジガ

ナイデモゴザイマセヌカラ、其點デ斯ウ云

フ御尋ラシタノデアリマス

○吉野國務大臣 伍堂前大臣ハ何カ最低六

百二十万種ト云フ御話ラシタト云フ風ニ伺

ヒマシタノデスガ、私ハ率直ニ申上ゲマス

ト、ソレデハ少シ足りナイデハナイカ、ド

レ程足りナイカト云フコトハ、今御話ノ通

リ資源ノ關係モゴザイマス、鐵鑛石ノ關係、

石炭ノ關係モゴザイマス、又國防上ノ軍事

係者ノ間ニ其ハッキリシタ目標ト云フモノヲ檢討中デアリマス、其目標ガ幾ラ〜ト云フ具體的ノ數字ガ決マラナケレバ、此法律ガ出セナイモノダト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、此法律ハサウ云フ目標ヲ置キマシテ、實施スルニ付テモ非常ニ必要ダト云フ風ニ考ヘテ居リマス、石炭ノ點ニ付テ御心配ノ點モゴザイマスガ、是ハ洵ニ御尤デアリマシテ、實ハ商工省ニ於キマシテモ、殊ニ製鐵用ノ石炭ハ、ドノ石炭デモ使ヘルト云フモノデモゴザイマセヌカラ、用途別ノ石炭ノ埋藏量ナドモ研究致シテ居リマスシ、又從來ノ實例カラ申シマシテモ——話ガ少シ細カクナリマスケレドモ、一ツノ品種デナケレバ二種、三種合セテ、詰リ從來ハ「コークス」炭トシテ認メラレナカッタ石炭ガ、學問技術ノ進歩ニ依ッテ「コークス」炭ニナルト云フコトモ、御承知ノ通りデアリマスカラ、サウ云フ方面ノ研究モシマシテ、兎ニ角國防上、産業上必要デアルト云フ限度ニ向ッテハ、日滿ヲ打ッテ一丸ト致シマシタ見地ニ於キマシテ資源モ茲ニ合セル、其一部分ハ已ムヲ得ナケレバ、輸入ニ俟ツコトモ仕方ガナイと思ヒマスガ、周到ナル計畫ヲ立テル積リデアリマス

シテハ、此間ノ懇談會ノ席上ニ於テ伺ヒマシタシ、今商工大臣カラ改メテ御話ガゴザイマシタカラ、此點ハ明瞭ニナッテ居リマス、此間十八條ノ統制協定ト云フ文字ヲ芦田サンガ御尋ニナッタヤウデアリマスガ、ソレニ對シテ「カルテル」ノ意味ダト云フ御話ガゴザイマシタガ、然ラバドウ云フ方法デ此自治統制ヲヤッテ價格ノ騰貴ヲ防グカ、ソレヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○吉野國務大臣 大體營業者ヲ寄セマシテ

——ソレハ生産者モゴザイマセウ、必要ガアレバ又販賣業者モゴザイマセウ、關係者ヲシテ所謂統制協定——ムヅカシイ言葉ヲ使ッテ居リマスガ、要スルニ申合ニ依ッテ、例ヘバ生産量ハドノ位ニスル、足ラナケレバ用途別ニドウ云フヤウニ配給スルカ、値段ノ點ハドウスルカ、中間ノ商人ガ暴利ヲ貪ルヤウナコトガアレバ暴利ノナイヤウニ、ドウ云フヤウナ販賣協定ヲスルカト云フコトヲ決メマシテ申合ヲサセル、ソレヲ商工省ハ其間ニ入りマシテ十分ニ監督指導シテ行ク、サウシテ若シソレデ效ガナイ、之ニ背クト云フコトガアレバ、所謂昨日申上ゲマシタ傳家ノ寶刀ヲ抜イテ強制シテ從ハシムル、斯ウ云フコトデヤッテ行キタイト思ヒマス

○小野委員 政府ハ既ニ部分的ニハ節約ト云フヤウナモノヲ實施サレテ居ルヤウデゴザイマスガ、今後消費ノ割當ト云フ所マデ進マナケレバナラスヤウナ時期ガ、相當遠クナイ、眼ノ前ニ迫ッテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、果シテ消費ノ割當マデ御進ミニナル御考デアリマセウカ

○吉野國務大臣 私ハ成ベク物ヲフンダン

ニシテ使フ人ニ不便ヲ掛ケナイヤウニ致シタイト云フノガ念願デゴザイマスケレドモ、御話ノ通り段々時局ノ發展次第ニ依リマシテハ、鐵ノ供給ガ不足ニナリマシテ、消費方面ニ於キマシテモ、幾ラカ緩急輕重ヲ考ヘマシテ、或方面ノ需要ハ抑制シナケレバナラナイト云フヤウナ事態モ、絶對ニ起ラナイノダト云フコトヲ此處デ一寸申上ゲ兼ネマス、サウ云フ事態ガ起リマシタ節ニハ、ソレニ合フヤウナ方法ヲ考ヘタイト思ヒマス

○小野委員 海軍當局モ御見エニナッテ居

ルヤウデゴザイマスガ、現在ノ時局ノ情勢下ニ於キマシテハ、原鑛石ヲ南洋方面カラ仰ギ得ル可能性ガアルノデゴザイマセウカ、ソレカラ更ニ商工大臣ニ伺ッテ見タイトデアリマスガ、現在日鐵ガ持ッテ居リマス所ノ鑛石ノ「ストック」ハ、ドレダケデアリマセ

ウカ、一年使フ位ノ「ストック」ヲ持ッテ居リマセウカ

○吉野國務大臣 實ハ貯鑛命令ハ軍事上ノ

命令デゴザイマシテ、私モ能ク承知致シマセヌ、表向キニハ申上ゲ兼ネルコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○岡崎海軍中佐 海軍ノ御答ヲ申上ゲマ

ス、船舶關係ニ於キマシテ、南方方面カラノ鑛石ノ輸入ハ大丈夫デゴザイマス

○小野委員 商工大臣ニ伺ヒマス、鑛石、

「スクラップ」石炭、是等ノ原料ノ供給、配給ヲヤルヤウナ國策會社ヲ御作りニナルト云フ方針ガゴザイマセウカ、ドウカ伺ヒタイ、第十八條ノ文句ノ中ニサウ云フ意味ガ含まレテ居ルカドウカ

○吉野國務大臣 「スクラップ」ニ付キマシ

テハ、既ニ同業者ノ間ニ共同購買ノ一ツノ「カルテル」ガ出來テ居ルヤウデアリマス、原鑛石ナドニ付キマシテモ、段々サウ云フヤウナ話ガ營業者ノ間ニ進ンデ參ルノデヤナイカト思ヒマス、只今其爲ニ特別ノ一ツノ會社ヲ作ルカドウカト云フコト迄ハ、只今ノ所考ヘテ居リマセヌ

○小野委員 現在既ニ斯様ナ時局下ニ於キ

マシテ、支那カラ鑛石ガ來ナイガ、其補充ハ滿洲アタリカラダケデ補充ガ出來マス

○小野委員 日滿一體ノ増産計畫ニ對シマ

カ、今海軍ノ方カラ南洋方面カラモ取り得ルトノ御話ガアツタガ、支那カラ参リマス鑛石ノ補充ハ南洋、滿洲ノ方面カラサレル御考デゴザイマセウカ

○吉野國務大臣 大體當面ノ需要ニハ差支ガナイダラウト思ヒマス

○小野委員 私は是デ宜シウゴザイマス

○木原委員 本案ニ依リマスレバ大體製鐵業者ノ設備、生産品及ビ使用原料等ニ區別ヲ設ケラレテ、ソレト保護獎勵ノ途ヲ講ゼラレタコトハ洵ニ結構デアリマス、唯獨リ木炭銑鐵業者ガ此中カラ除外サレテ居ルノハ、私ハ洵ニ不可解ニ思フ、申上ゲル迄モナク木炭銑ハ骸炭銑ニ比較致シマシテ、其品質ハ優良デアリ、高級鑄物デアルトカ、特殊鋼等ニ使用サレテ居ルデアリマス、就中鋼鐵壓延用「ロール」ノ地金配合劑トシテ、必須缺クベカラザルモノデアアルコトハ、去ル昭和七年頃デアリマシタカ、當時ノ八幡製鐵所ノ技術部會議ニ於テ、極メテ明確ニ證明サレテ居ルデアリマス、今回ノ製鐵ノ増産計畫ガ、著々實施ノ運ビニナリマスナラバ「ロール」ノ需要モ亦逐年増加スルコトハ疑ナイコトト思ヒマス、然ラバ此際木炭銑ノ増産ニ格段ノ保護獎勵ヲ加ヘテ、優良ナル「ロール」ノ自給ヲ計リ、ソレ

ニ依ッテ外ハ輸入ノ防遏ヲ期シ、内ニ向ッテハ生産力ノ擴充、國防ノ整備ニ差支ナカラシコトガ肝要デアリマス、私ハ過日來ノ委員會ニ於テ、木炭銑ヲ第九條カラナゼ除カレタノデアアルカト云フ質問ヲ致シタノデアリマスガ、之ニ對シテ政府委員ノ御答辯トシテ、木炭銑鐵業者ヲ第九條ノ中ニ列記セヌカラト云ッテモ、ソレハ當然本條ノ適用ヲ受ケルベキモノデアアルカラ、差支ナイト云フ御意見ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、果シテ左様ニ承知シテ宜シイカ、此際改メテ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○東政府委員 私カラ御答致シマス、現在我國ニ於テ製造セラレマス所ノ木炭銑ハ、専ラ砂鐵及砂鐵滓等ヲ原料トシテ居ルデアリマスガ、是等ノ砂鐵及砂鐵滓等ヲ原料トスル木炭銑製造事業ニ付キマシテハ、第十條又ハ第十一條ノ規定ニ依ッテ、免稅ノ恩惠ガ受ケラレルコトニナッテ居ルデアリマス

○木原委員 ソレハ昨日來能ク申上ゲタ通り分ッテ居リマス、ソレデナイ純粹ナ木炭銑ノ製鐵業ニ向ッテノ話デアリマス、ソレハ九條ノ適用ヲ受ケ得ルモノデアアルカト云フコトデアリマス

○東政府委員 第九條ニ於テ特ニ低磷銑ト

竝ンデ木炭銑ノ規定ヲ置キマセヌデシタノハ、先程モ申シマシタヤウニ、現在我國ニ於テ優秀ナル木炭銑ヲ製造シテ居リマス事業ハ、第十條、第十一條ノ規定ノ適用ニ依ッテ保護ヲ受ケラレルノデアリマスノト、他面木炭ヲ燃料トスル理由ノ下ニ、好景氣時代ニノミ採算可能ナル所ノ、普通ノ銑鐵ヲ製造スルヤウナ小規模ナル設備ヲ獎勵スルヤウナ結果ニナルコトヲ恐レマシテ、左様ナ言葉ハ適當デナイト考ヘタ爲ニ、第九條ニハ木炭銑ノ規定ヲ置カナカッタ次第デアリマス

○木原委員 サウスルト木炭銑鐵ハ全然第九條ノ適用ヲ受ケル機會ハナイノデアリマスカ

○東政府委員 第九條ノ規定ニ依リマシテハ、木炭銑ハ保護ヲ受ケルコトニハ相成リマセヌ

○木原委員 ソレハアナタノ御答辯ニ少シ疑義ガアルト思ヒマスガ……

○東政府委員 先日モ申上ゲマシタ通り、低磷銑デアリマスレバ木炭銑デアリマシテモ、第九條ノ規定ニ依ッテ保護ヲ受ケルコトハ勿論デアリマスガ、低磷銑デナイ木炭銑ハ、第九條ニ依ッテハ是ハ保護ハ受ケラレナヤコトハ、此間カラ申上ゲテ居ル通りデア

リマス、先程カラ申上ゲマシタヤウニ、現在日本ニ於テ出來テ居リマス木炭銑ト云フノハ、砂鐵又ハ砂鐵滓ヲ原料トシテ居リマスカラシテ、第十條又ハ第十一條ノ規定ニ依ッテ保護ヲ受ケルコトニナリマスカラ、差支ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデゴザイマス

○木原委員 サウスレバ低磷銑ト同一ノ待遇ハ受ケラレルト仰シヤルガ、低磷銑ト同一ナ木炭銑ナラバ、九條ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナルノデスカ

○東政府委員 左様デアリマス

○清瀨委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、直チニ討論ニ入りマス

○岡崎委員 討論ニ入ル前ニ商工大臣ニ一應確メテ、言明ヲ得タイト思フ點ガ一二ゴザイマス、本案ニ付テハ前議會及今議會ニ於テ、十分審議サレマシタコトハ、質問應答ニ依テ明カナ所デアリマスガ、本案ノ第十二條ノ第二項ノ監督權デアリマス、「監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ製鐵事業者ノ事務所、營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得」之ニ付テハ現在ノ商工大臣、商工省當局ニ於テハ無法ナコトハナカラウト信ジテ

居リマスガ、將來ニ互ツテハ相當危惧ノ念ヲ懷イテ居ルノデアリマス、又第二十五條ニ於キマシテ「本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ政府ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ、第三條ノ許可ヲ取消シ又ハ法人ノ役員ノ解任ヲ爲ス」ト云フヤウニアリマスガ、之ニ付テモ業務ヲ停止シ若ハ制限シ、許可ヲ取消シ、法人ノ役員マデモ解任シナクテモ宜イデハナイカト云フヤウナ議論モアリ、危惧ノ念モ懷イテ居ルノデアリマス、併シ目下ノ重大ナル時局ニ鑑ミテ、之ヲ必ズシモ修正セントスルモノデハゴザイマセヌガ、斯様ナ極端ナル監督權ハ、容易ニ發動シナイト云フコトハ當然ノコトダト思ヒマスルガ、將來ノコトモアリマスノデ、此決議ヲ行フ前ニ大臣ノ言明ヲ得タイト存ズルノデアリマス

**○吉野國務大臣** 全ク同感デゴザイマス、嚴ニ是ガ適用ハ慎マナケレバナラナイト考ヘテ居リマス

**○岡崎委員** 製鐵事業法案ニ對シマシテ政友會、民政黨共同ニ修正動議ヲ提出シテ、本案全體ニ付テ賛成ヲ表スルモノデアリマス、即チ第二十條ノ第二項ノ公益上必要ニ依リ設備ノ擴張、改良又ハ作業ノ方法ノ變

更、竝ニ第二十一條ニ規定サレテ居リマスル軍事上ノ必要ニ依リテ特殊事項ノ研究又ハ製鐵原料ノ保持等ノ御命令ガ出マシタ場合ニ、政府ハ之ニ依リテ生ズル製鐵事業者ノ損失補償ニ付テ、法文ニ適當ナル規定ヲ設ケテ居ナイノデアリマス、仍テ補償規定ヲ法文ニ明記スルガ爲ニ、法案中左ノ通り修正ヲ致スノデアリマス、即チ第二十一條ノ次ハ第二十二條トシテ新ニ斯ウ云フ條項ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、「政府ハ第二十條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リ爲シタル命令ニ因リ生ジタル損失ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ補償ヲ爲スコトヲ得」ト新ニ規定ヲ致シマシテ、之ニ伴ツテ各條ノ條文ヲ順次繰下ゲテ、整理ラシテ戴キタイト云フノデアリマス、茲ニ斯様ナ修正ヲ提出致シマス

**○清瀬委員長** 岡崎君ニ一寸御確メ致シマスルガ、御提案ハ要スルニ新ニ第二十二條トシテ「政府ハ第二十條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リ爲シタル命令ニ因リ生ジタル損失ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ補償ヲ爲スコトヲ得」ト云フ條文ヲ茲ニ設ケテ、原案ノ第二十二條ヲ第二十三條ニ、以下順次繰下

**○岡崎委員** 左様デゴザイマス

**○清瀬委員長** 別ニ御議論ハゴザイマセヌカ

**○吉野國務大臣** 一寸今ノ修正ノ御趣意デゴザイマスガ、第二十二條ヲ新ニ置キマシテ、ソレカラ原案ノ第二十二條以下ヲ順次繰下ゲルト云フコトハ分リマシタガ、サウ致シマスルト他ノ條文ニ於キマシテモ、此原案ノ第二十二條ヲ引イテ居ル所ハ、適當ニソレム、修正ヲスル、斯ウ云フ意味ニ解シテ宜シウゴザイマスカ

**○岡崎委員** 左様デゴザイマス

**○南條委員** 只今ノ岡崎君ノ修正提案ニ對シテハ、政友會委員ノ代表トシテ賛成デアリマス

**○小池委員** 修正案ニ付テノ討論デスガ、宜シウゴザイマスカ

**○清瀬委員長** 賛成ノ御意見カ、反對ノ御意見ガ伺ヒマス

**○小池委員** 第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、本修正案ニ賛成致シマス、但シ吾々ハ修正案ヨリモ原案ヲ宜シト思ツテ居ルノデアリマスケレドモ、修正ノ事項ガサシテ問題ニスルニ足リナイト云フ點ニ於テ、修正案ニ賛成致シマス、大體今マデノ質疑應答ヲ拜聽致シテ居リマシテ認メマス所ニ依レバ、此修正事項ノ文面ハ當リ前ナコトデ

ハアリマスルケレドモ、修正ニ至リマシタ其動機ト云フモノハ、吾々ガ考ヘマスルニ、折角本案ニ依ツテ發動シ得ル統制管理ノ力ヲ、幾分デモ緩和シヨウト云フ目的ノ下ニ、修正ノ動議ガ爲サレタヤウニ私ハ認メルノデアリマス、此意圖ニ對シマシテハ、私共ハ絶對ニ反對ヲ致シマス、サリナガラ第二十條竝ニ其他ノ條文ガ修正ニモ拘ラズ、立派ニ生キテ居リマス以上、假令一部ニ修正ガ行ハレマシテモ、此際本案ノ通過ヲ希望致シマスガ爲ニ、修正案ニ賛成ヲスルノデアリマス、隨テ賛成ノ意味ハ修正案ヲ出サレマシタ方々トハ恐ラク逆ニナルカト思フノデアリマス、修正案ヲ提出サレマシタ方ハ、消費者トシテノ國家ト國民トガ、不當ナル鐵鋼ノ高値ニ今日惱ミ抜イテ居ルニモ拘ラズ、製鐵業者ガ厩大ナル利潤ヲ一面ニ於テ追求シツ、アル現狀ヲ當然ナルモノトナサレテ、之ヲ社會的ニ謂ハ、正義ナリト認定サレタヤウニ私ニハ認メラレマス、其正義ガ本法案ノ原案ニ依テハ侵害ノ虞アリトシテ修正ヲ試ミタモノト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ私共ハ之ヲ逆ニ見ルノデアリマシテ、即チ此際製鐵業者ハ世間一般ノ利益率ニ満足致シマシテ、今日得ツ、アル所ノ過大ノ利潤ヲ自ラ進ンデ割愛

シテ、以テ鐵鋼ノ價格ヲ出來ルダケ引下ゲテ、國家國民ノ消費ヲ容易ナラシメナケレバナラスモノト私共ハ信ズルノデアリマス、殊ニ今回ノ事變ニ際會致シマシテハ、一切サウアラネバナラスモノト信ジマス、第二十條其他ハ製鐵業者ヲシテサウサセルベキ勸告書デアルト、私共ハ認メルノデアリマス、已ムナクンバ強制命令トナルベキモノデアリマスカラシテ、假令一部ノ修正ガアラウトモ、此二十條其他ノ條文ガ生キテ居リマス以上、本案ノ通過ニ贊成ヲ致シマシテ、修正案ニ贊意ヲ表スルモノデアリマス、吾々ハ斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、修正ニ依リマシテ本法案ガ、幾分其力ヲ緩和サレタノデアリマスケレドモ、併ナガラ刻々今日時局ハ急轉シテ參リマシテ、此時局ノ推移ト云フモノハ好ムト好マザルトニ拘ラズ、第二十條其他ニ強力ナ力ヲ發揮セシメズニハ置カナイト私ハ考ヘマス、是ハ自然ノ推移ト思ヒマス、只今ハ修正ヲ爲サレマスル方ノ意見ガ壓倒的デアリマセウケレドモ、併シ茲暫ラクノ時日ヲ經過致シマスナラバ、本案ハ修正提案者ノ期待ヲ裏切ツテ、吾々ノ希望通りニ力強く運用サレルニ違ヒナイノデアリマスルガ故ニ、修正案ニ贊成致ス次第デアリマス

尙更ニモウ一ツダケ希望意見ヲ申上ゲテ置キマスガ、本法案ガ吾々ノ希望致シマシヤウニ運用サレルカドウカト云フ點ハ、懸ツテ製鐵事業委員會ノ構成内容如何ニ私ハアルト思フノデアリマシテ、此構成内容ニ付キマシテハ、吾々ガ希望致シマシヤウニ、本法案ガ運用サレル如キ構成内容ニナサレシコトヲ、強ク茲ニ希望致シマシテ、修正案ニ贊成致シマス

ウニ、十分ニ當局ニ注意ヲ拂ツテ戴キタイト云フコトヲ一言附加致シマシテ贊成致シマシ

○南條委員 本案ノ前議會ニ於ケル質疑ノ經過竝ニ本委員會ニ於ケル質疑等カラ考ヘマシテ、本案ニハ次ノ四ツノ附帶決議ヲ附加シテ成立セシムルコトガ必要デアルト云フ政民兩派ノ共同提案ニ基ク次ノ附帶決議ヲ申上ゲマス

○塚本委員 今政友會竝ニ民政黨カラ四ツノ希望條件ガ附セラレマシタ、我が大衆黨ニ於キマシテモ、ヤハリ四ツノ希望條項ヲ附シタイト思フノデアリマス、即チ希望條項

一、第七十議會ニ提出セラレタル本法原案カ事業者側ノ反對運動ニ依ツテ相當程度改悪修正セラレタル事實ニ鑑ミ政府ハ本法ノ運用ニ際シ特ニ第二十條ノ公益規定及第二十五條ノ處罰規定ヲ空文化スヘカラサルヤウ善處スヘシ

二、政府ハ製鐵事業委員會ニ直接消費者タル中小鐵鋼業者、間接消費者タル國民ノ生活部面ヲ代表スル者及製鐵ノ技術及勞働部面ヲ代表スル者ヲ參加セシメルヤウ善處スヘシ

三、政府ハ將來鐵鋼ノ一元的計畫性ヲ確立シ、定地性ヲ擴大シ、營利ヲ目的トセサル資金ヲ動員シ國營「トラスト」ノ下ニ運用スルヤウ努力スヘシ

四、政府ハ製鐵事業ノ國策的重要性ニ鑑ミ勞働者ノ技術ノ向上、待遇ノ改善及其人格的要求ヲ尊重シ以テ產業協力ノ實ヲ擧ケシムルヤウ善處スヘシ

以上四ツノ希望條項ヲ附シテ原案ニ贊成致シマス

○塚本委員 私モ此修正案ニ付キマシテハ贊意ヲ表スル者デアリマスガ、一言附加シテ置キタイトハ、立法技術上カラ見マシテ、此修正條項ヲ挿入シタイトニ依ツテ、將來要ラザル摩擦ガ起ルヤウナコトガナイカト云フコトヲ懸念スルモノデアリマス、即チ茲ニ諷ハレタ所ノ政府ノ命令ニ依ツテ、色色ナ事ヲ命令致シマシタ場合ニ、其事ガ生ジタル損失云々ト云フ其損失ノ程度、或ハ損失ヲ生ジタルカ生ジナイカト云フヤウナコトヲ中心ニシテ、問題ガ起リハシナイカト云フコトヲ心配致シマス、隨ヒマシテモット是ハ細カニ立法上ノ色々技術ヲ要スルト思フノデアリマス、ソレハ施行令其他ノ小サナ細則ニ依ツテ規定セラレルト思フノデアリマス、其點小池氏カラモ段々御話ガアリマシタガ、サウ云フヤウナ心配ノナイヤ

最善ノ方法ヲ講スヘシ

三、政府ハ鐵鋼界ノ現狀ニ鑑ミ販賣機構ノ改正ヲ斷行シ需給ノ圓滑ヲ圖リ且ツ不當ナル中間利益ノ獲得ヲ阻止スルヤウ努力スヘシ

四、政府カ本法ニ依リテ監督權ヲ行使スルニ當リテハ當業者ノ企業心ヲ萎靡セシムルコトナキヤウ萬全ノ注意ヲ拂フヘシ

以上

第六類第三號 製鐵事業法案委員會議錄

○中井川委員 民政黨ハ南條委員ノ提案ニ對シテ贊成致ス者デアリマス

○清瀨委員長 討論ヲ終リマシテ採決ニ入リマス、岡崎久次郎君ノ唱ヘラレマシタル政民兩黨共同提出ノ修正案ニ、贊成ノ御方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○清瀨委員長 贊成者ハ全員、滿場一致贊成デアリマス、次ニ今ノ修正案ヲ除イタ殘リノ全部ヲ議題ニ供シマス、贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○清瀨委員長 全員贊成デアリマス、此場合修正案ニ對スル政府ノ御意向ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 修正案ニ對シマシテハ、政府モ同意デアリマス

○清瀨委員長 次ニ附帶決議ノ採決ニ入りマス、先ヅ社大黨ノ附帶條件ニ付テ採決致シマス、贊成ノ御方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○清瀨委員長 少數デアリマス、次ニ政友會ノ南條君カラ提出サレタル希望條件ニ付テ採決致シマス、贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○清瀨委員長 贊成者多數デアリマス、決定致シマシタ——此場合一寸皆サンニ御諮リ致シマスガ、修正ノ結果條文ニ動キガアリマスカラ、多少字句ノ修正整理ヲ要スルト思ヒマスガ、是ハ委員長ニ御一任ヲ御願シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○清瀨委員長 御異議ナシト決シマシタ、是ニテ本委員會ニ付託サレマシタル議案ハ終了致シマシタ、三日間ニ互リマシテ諸君ガ精勵セラレマシタコトヲ委員長ト致シマシテ深く感謝致シマス(拍手)是ニテ散會致シマス

午後三時三十分散會